

(資料2)

施策名	1-1 歴史文化の保存と活用
求められていること	世界遺産のある郷土への誇りや愛着心を高め、その価値を国内外に広く発信することが必要です

第六次藤井寺市総合計画に掲げている施策名です。こちらが、ご意見がある場合に、回答様式に記入していただく施策名となります。

目標指標	計画起点 令和4年度 現状値	令和5年度 現状値	令和6年度 現状値	令和9年度 目標値	令和13年度 目標値	数値管理課	進捗状況	進捗状況等 に関する要因
1.ガイドス様まほらしろやまの来館者数	19,336人	17,312人	15,931人	21,000人	23,000人	文化財保護課	×下降	コロナ禍による来館者の減少により、3、4月の来館者数が大幅に減少した。
2.藤井寺市指定文化財の指定の合計件数	12件	14件	15件	16件	20件	文化財保護課	○計画通り	令和6年度には「葛井寺南大門」を新たに指定し、着実に事業を実施できた。
3.史跡古市古墳群(藤井寺市域)及び史跡国府遺跡の公有化面積の合計	105,599.09㎡	106,888.12㎡	108,116.34㎡	108,500㎡	109,000㎡	文化財保護課	○計画通り	令和6年度には、史跡古市古墳群割塚古墳・東山古墳の公有化を行い、着実に事業を実施できた。

目標指標の進捗状況に関して、考えられるその主な要因を記入しています。

第六次藤井寺市総合計画に掲げている目標指標(KPI)に対し、令和6年度の現状値を記入しています。なお、まだ実績値が出ていない、調査が数年に1回のため今回は測定できない等の場合は、「-」を記入しており、「進捗状況等に関する要因」欄に、次の調査予定(測定)年度等を記入しています。

進捗状況は、「令和6年度現状値」が「計画起点の令和4年度」以降、どのように推移しているのか、また、「令和13年度目標値」に対して、どのような進捗状況にあるのかを、下記の基準を参考に記入しています。

- <進捗状況の選択肢>
- ◎ 目標値達成(→年度ごとで積み重ねていく数値で、6年度で既に13年度目標値を超えた場合)
 - 計画通り(→9年度目標値や13年度目標値から見て、概ね計画通り推移している場合)
 - △ 横ばい(→計画起点の4年度や5年度現状値と比較して、概ね横ばいで推移している場合)
 - × 下降(→計画起点の4年度や5年度現状値と比較して、下降・悪化している場合)
 - その他(→まだ実績値が出ていない、調査が数年に1回のため今回は測定できない等の場合)

取組方針1	世界遺産の保存と活用			
内容	大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市が連携し、「百舌鳥・古市古墳群」の保存を図るとともに、認知度向上、来訪・周遊促進、価値理解が深まるような取り組みを進めます。また、世界遺産を身近に感じることができ魅力的な事業展開により、市民の安らぎと豊かさを高め、来訪者に対するまちのイメージアップにもつなげます。			
取組名	百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議事業		継続	事業課
取組概要	百舌鳥・古市古墳群を人類共通の財産として守り、後世へ伝えるとともに、歴史と文化を活かしたまちづくりを推進することを目的として、大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市にて事業を実施しています。令和6年度は、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の高い価値と魅力を海外へ発信するため、The New York TimesにてPR記事の掲載や高精細(4K)PR映像を活用したYouTube広告配信を実施します。また、多言語対応のパンフレットの改定・増刷、並びに、カレンダーの制作を行うとともに、世界遺産登録5周年記念イベントを集客力の高いあべのハルカスにて実施します。さらに、資産等保存管理業務として、管理に資する水質の調査を実施し、モニタリングを行います。			
事業費(千円)	令和6年度	5,046 (うち特定財源 0)	令和7年度	→
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡整備基本計画の遺産影響評価の実施 ・モニタリング年次報告書の作成 ・水質調査の実施 ・世界遺産登録5周年記念事業の実施(来場者数約2,400人) →(開催日)令和6年7月6日、7日 (開催場所)あべのハルカス近鉄本店 (内容)ステージイベント(トークショー(笑い飯、はに丸・ひんべえ)、古墳群クイズ、ゆるキャラ撮影会等) 名産品ショップ出店、古墳群パネル展等 ※関連イベント:世界遺産裏話、土器展示、はに丸投げ、古代衣装・甲冑着用体験、土器パズル等 ・デジタルメディアを活用したPR記事の掲載および広告配信 →The New York Times 電子版に掲載しているPR記事への誘導を目的とし、広告配信を行った。 (実績)■The New York Times PR記事クリック数:86,706回 ■広告配信(The New York Times 内での広告)クリック数:55,490回 ■広告配信(YouTube)クリック数:31,216回 ※配信国:インドネシア、タイ、香港、台湾、スペイン、アメリカ、フランス、オーストラリア ・PRツール(もず・ふるカード、リーフレット等)の増刷 			
事業費(千円)	令和6年度	4,038 (うち特定財源 0)	令和7年度	→
評価	<A> 計画通り進行			
評価理由・課題	関係機関と連携し、遺産影響評価詳細分析の検討やモニタリング、保全状況報告書の作成等により、構成資産の適切な保存管理を遂行することができた。また、来訪者対策として、世界遺産登録5周年を契機としたイベント等のPR事業において、百舌鳥・古市古墳群の価値・魅力の理解を促進することができた。しかしながら、世界遺産登録5周年という節目の年度であり、かつ、大阪・関西万博開催を控えていたため、例年以上にイベントが増加し、スタッフの調整に課題が残った。市外で実施されるイベントに積極的に参加し、市及び市特産品のPRを実施した。また、令和6年度は委託業務としてシニアプロモーション推進事業やイベント業務を実施したが、その中でメディアや広報媒体等も利用しつつ対面でPRを行い、様々な手法でPRすることもできた。			
令和7年度以降の方向性	引き続き、関係機関と連携し、構成資産の適切な保存管理を行うとともに、来訪者満足度を向上させるための事業を遂行していく。課題に対しては、判断基準を設け、他事業との日程や通常業務を含めたシフト及び内容、ターゲット、費用対効果を考慮したうえでイベントの実施(参加)判断を行う。今後もイベント出展や「ワエルカムラウンジ」の周知をはじめ、様々な場面で市特産品のPR活動を積極的に実施する。			

取組方針に基づく令和6年度の取組名を記入しています。また、その取組の新規・継続及び担当課名を記入しています。

第六次藤井寺市総合計画に掲げている取組方針(主な取組)の項目とその内容を記入しています。

令和6年度に予定していた取組概要を記入しています。また、取組に要する予定の事業費及びその内の国や府から受け入れる予定の特定財源額を記入しており、その取組が令和7年度・令和8年度に継続して実施する予定の場合は「→」としています。

令和6年度に予定していた取組概要に対し、実際に実施した取組結果を記入しています。また、取組に要した実際の事業費及びその内の国や府から受け入れることができた特定財源額を記入しており、その取組が令和7年度・令和8年度に継続して実施する予定の場合は「→」としています。

令和6年度の取組結果に対する内部評価として、その進捗状況等を勘案し、下記の参考基準を基に4段階評価を行っています。事業課が複数ある場合は、それぞれの事業課での評価を基に、取組方針から見た全体的な評価を行っています。

<内部評価の参考基準>

- A 計画通り進行(→当初の取組概要に対し、令和6年度の取組結果が計画通り進行している場合)
- B 概ね計画どおりだが、一部未実施・未達成(→当初の取組概要に対し、令和6年度では一部に未実施・未達成がある場合)
- C 未着手(→当初の取組概要に対し、令和6年度では未着手の場合)
- D 完了・廃止(令和6年度で廃止又は完了した場合)

取組方針ごとの取組内容や進捗状況等を踏まえ、上記の評価を行った理由や主な取組結果、取組の中で発生した課題などを記入しています。

目標指標の進捗状況や内部評価の結果を踏まえ、施策の有効性の向上等を目指し、令和7年度以降に取り組む方向性や客観的な根拠の取入れ、今後の進め方などを記入しています。